

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株)東建設計	代表者	代表取締役 中里義範	法人・事業所 の特徴	平成27年3月1日開設、「生き生きと穏やかに」を理念に掲げ、高齢者が在宅生活を継続していくことができるように訪問、通い、泊まりを調整し支援している。認知症の独居の利用者が増加しており、高齢者支援センター、医療機関、訪問看護、訪問リハ、福祉用具等との多職種連携を図っている。毎日午前午後の体操レク、行事等で楽しみや他者との関わりを深め、社会的に自立した生活を目指して支援している。コロナも5類になり、ボランティアも少しずつ増えている。地域と関わりを深めていきたい。
事業所名	小規模多機能ホーム 椿寿園	管理者	西浦敏恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	4人	人	人	1人	1人	1人	1人	人	9人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ケアマネジャーは、園と家庭（家族利用者）のつなぎ役、モニタリング（評価）でニーズを把握し、ミーティングで話し合い、寄り添ったケアを実施していく。	ミーティングは毎日 13:00～13:20 程度行い、情報交換している。利用者の状況に合ったケアを再考し統一に努めている。苦情については即話し合い対応している。	全員がケアの質の向上に努めているように思う。今後も継続してほしい。	利用者がどうしたいのかを最重要視し、認知症でも意志を表出できる支援を行いながら、利用者に沿ったケアに努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	A様は朝7時に来園される。職員も7～8時少ない為、臨機応変に鍵をかけ事故を防いでいるが、最近では職員同志声かけ合い、A様の様子確認を行い、鍵をかけることは1Wに1～2回程度となっている。鍵をかけないケアを目指していく。	認知症の周辺症状（帰宅願望）が強い方が3名おられる。職員の目が届かず、近郊で発見された方に対し、内ドアの鍵はやむなくかけている。場面の変更やコミュニケーションを深め、落ち着かれるよう対応している。	昨年11月泊まり時、離園された利用者に関しては、施設はやむを得ないのではないかと。人命尊重してもらいたい。園内の臭いは感じない。職員の挨拶や対応も良いと思う。	虐待、身体拘束について定期的に委員会、ミーティングで話し合い、ケアの質を高めていく。地域の為の施設として、誰でも立ち寄れる場所になるよう努めていく。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナも5類となり、えんぶり、アコーディオン演奏、ピアノ演奏、お茶会等、ボランティアの行事が広がりがあつた。利用者の生活の質の向上ができるよう行事を増やしていく。	利用者の年齢は80,90代の方々であり、地域の会合に参加することは難しい。地域の方々に来ていただいて触れ合いを多くしている。アコーディオン、ピアノ、えんぶり、踊り、ボランティア（体操講師、南部昔話、お茶会等）他、機会を多く持っている。通院、銀行、理美容等同行し、社会的な生活が送れるよう努めている。	地域とのかかわりを多く持っている様子、大変良いことと思う。	利用者の社会的生活を継続する為に多職種との連携を図り、生活の質の向上（QOL）を目指していく。（訪問医療、訪問看護、訪問リハビリ、福祉用具、病院に出向いて栄養士から指導を受ける、他施設との連携、調整等）

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	高齢者の生活は、在宅か施設か選択が必要な時が出てくる。利用者が家で暮らしたい希望に寄り添い、必要なサービスを実施し、在宅生活を継続できるよう支援していく。	独居だが、自宅はゴミいっぱいの暮らしを少しでも衛生的な環境に向上させるべく、多職種の方々と取り組んでいる。	ゴミいっぱいの方々の暮らしを変えていくのは難しく、興味を持って対応を見ている。近くに同じようなケースの方がいて参考になる。	登録以外の方に昼配食を行っている。見守りの一環となる。他に家族の利用希望から2年経ち、利用開始されたケースあり、本人の気持ちを尊重した取り組みを目指していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	毎回、短い時間の中でコロナ状況や新しい八戸市の施策(災害への取り組み)について情報を共有し、地域の方に知っていただき、地域に溶け込んだ施設であることを目指していきたい。	難しいケースの対応に苦慮している時、市、高齢者支援センター、民生委員、町内の方から意見をいただき、後押ししていただいている。地域ケア会議の一環と考えている。	参加することで多くの情報を得ることができ、地域の活動に参考になっている。	園の運営について状況報告し、参考意見や提案等、自由に話していただき、利用者が地域で暮らしやすいように支援に結びつけたい。
F. 事業所の 防災・災害対策	B C Pの策定は今月いっぱいである。策定しても場所や道路状況でスムーズに避難できるか難しい。少しずつ避難経路、物資について具体的にし、職員の対応がすぐできるよう準備を重ねていく。	地域の特性として、地震による津波が最も危険度が高い。避難場所、避難道路、持ち出し物品等、職員が分かりやすく準備に努めているが、整備途中である。	地域では東北大震災を経験し、避難場所、経路、物品について講習会や訓練が行われている。参加し備えてもらいたい。	断水、停電について、職員の意識は高まっている。津波についても分散している物品を一ヶ所に取りまとめ、意識を高めていく必要があり、緊急の課題としている。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月9日（ 13:00 ～ 13:40 ）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	西浦・宮崎・東・儀我・木村・荒川・松長

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	5人	人	人	6人

前回の改善計画	利用前に自宅でのサービス担当者会議での情報収集は限りがある。利用初期に関わりを多く持ち、安心して楽しく過ごせる環境作りに努める。利用者の情報を沢山把握することを心がける。
前回の改善計画に対する取組み結果	各スタッフが利用者との会話の中で把握したことをミーティングで共有し、新しい環境に慣れていただくよう努めていたが、会話の機会少なく十分とは言えず、今後も努力していくことが必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	6			8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	7			8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	7			8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	5	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ミーティングを通じて情報を得て、声掛けや気遣いに気を配っている。 ・ミーティングをして本人や家族、介護者の状況を職員が理解している。 ・申し送りノートを勤務に入る前に確認している。 ・初めて園を利用される方に安心、信頼感を持ってもらえるように、会話、行動、表情、コミュニケーションから知ることを心がけている。不安材料を少なくするように努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ご本人が楽しく過ごせているのか不安。 ・利用者様の家族等に直接お会いする機会が少ないので、十分に配慮できているか疑問がある。	
理由）・見守りが必要な利用者様が増え、十分な配慮ができない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
利用者、家族からの情報収集は毎月モニタリングをしているが、以外に利用者が職員との関わりや他利用者との関わりがうまくいっているかを観察したり、直接本人から聞いたりし、楽しいと思われているか見定め、早く馴染んで利用していただけるように努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月9日（ 13:00 ～ 13:40 ）
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	西浦・宮崎・東・儀我・木村・荒川・松長

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	7人	人	人	7人

前回の改善計画	短期目標（6ヶ月後の希望される姿）を知り、利用者が考えている「～したい」（希望）について情報共有し、目標に近づく支援をしていく。「実現するには」を話し合い、試行錯誤しながら実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	「～したい」を考えたプランを立てているが、利用者の「～したい」が把握しにくかったり、職員間の共有が十分でないところあり、実現しているとは言い難い。実現にはばらつきあり課題である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		6	1		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		6	1		7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		6	1		7
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	5	1		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・「自宅で過ごす」という目標を実現する為にリハビリに取り組んでいる。自立という視点から対応している。 ・歌が好きな方、カードゲーム、麻雀等他働くことが好きな方（茶碗拭き、洗濯物干し、たたむ作業）等、強み（ストロングス）支援している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者全員の短期目標が把握できていない。	
理由）・勤務状況などにより、全員分把握できない。	
・忙しくて全員という気持ちがあるが、何人かになってしまう。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
本人の「～したい」を理解し日々の関わりを実施していく為、短期目標（6ヶ月毎に更新で長期目標「住み慣れた家で暮らしていきたい」を達成する為に現在目指すこと）をミーティングで確認共有する。スタッフ全員が同じ目線で対応するように努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月9日（ 13:00 ～ 13:40 ）
3. 日常生活の支援	メンバー	西浦・宮崎・東・儀我・木村・荒川・松長

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	人	人	8人

前回の改善計画	自宅ではどのような生活をされているか、生活スタイルを把握し、継続の為の支援をしていく。できる、できないを明確にし、できない所を支援していく。先ず、利用者が自宅でどのような暮らし方をされているか、聞き取っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	日常生活をありのまま受け入れていくことに努めた。各々の以前の生活が継続できるよう支援に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	3	4		8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	6			8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	7			8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	6			8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	6			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の体調に合わせた食事、入浴、排泄が行われている。 ・気づいた事、気になる事等は言語化できている。 ・食事、掃除、困り事は配食や訪問について、変化があれば社内で問題をあげ、柔軟な対応をしている。 ・ミーティング等、情報共有による支援ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「以前の暮らし方」10個以上は把握できていない。 ・認知症を伴う利用者様からの聞き取りに難しさを感じている。	
理由)・利用者様個々と向かい合って情報収集の時間が取れていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者と1対1で向き合う時間をとることは、3:1の人員では難しいところがあるが、入浴時、体操レク時等の中から職員が意識をもって行っていく。職員の意識対応力を高めていく。 全てミーティングで話し合い共有していく。 自宅での生活に目を配り、利用者が望む生活支援をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月18日（ 13:00 ～ 13:20 ）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	西浦・伊藤・宮崎・東・和嶋・赤坂・荒川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	6人	1人	人	7人

前回の改善計画	介護サービス利用以前、地域との関わりがどの程度あったか、今後も継続していくにあたり、どのような支援を求められているか知り、共有し地域の中で暮らしていけるように努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者が外出が多くでき、地域の中で社会的生活を送ることができるよう努めた。時季的に予防接種への同行やマイナンバーカード取得への同行等行っている。運営方法も緩やかになったことから、より寄り添った支援ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		6	1		7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		5	2		7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		3	4		7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		3	4		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 個人情報ファイルから生活スタイル、人間関係（家族背景）などを理解するようにしている。 - 以前から出かけられていた店（美容院、整骨院、病院、公共機関等）に継続して行くことができている、本人が希望するところに行けるよう生活スタイルの維持ができるよう支援している。 - 本人との会話の中に、生活スタイル、人間関係などを話されることがあり、ある程度理解できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
在宅時どのような生活をされているのか、地域との結びつきがあるか、全部把握できていない。	
理由）・地域資源（隣人、民生委員、コンビニ、スーパー、病院、公共機関、理容、美容店他）にどのようなものがあるのか分からず、本人の生活へ結びつけることができない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
以前の地域との関わり方を把握し、継続できるように努める。社会的生活（地域の中へ出ていくこと）を少しでも支援していく為、利用者が希望を述べやすく、すぐ対応することに努めていく。 運営推進会議や地域ケア会議で地域支援センター、民生委員と繋がりを持ち、利用者の生活支援にあたっていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月18日（ 13：00 ～ 13：20 ）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	西浦・伊藤・宮崎・東・和嶋・赤坂・荒川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	5 人	人	人	8 人

前回の改善計画	気候変動が激しく、高齢者の一人暮らしは難しいところもある。気温、湿度、体力等に注意をし、体調良く過ごしていく為に、通い、訪問、泊まりを柔軟な利用を勧めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人、家族の希望に100%対応できている。定員調整の理解も得ることができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	3	1		7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	5	3			8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	4			8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	5			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご家族の希望、本人の体調、様々な状況に可能な限り、通い、訪問、泊まりの調整しながら対応をしている。安心していただけるよう支援している。 ・家族様や本人からの急な要望にも適切に対応できている。 ・訪問リハ、福祉用具等、介護の資源を使って支援している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日々のかかわりから変化を捉えにくい場合ある。スタッフの気づきが遅くなり、本人の望む対応ができない時がある。	
理由)・スタッフの気づき力不足、スタッフ間のコミュニケーションで共有不足がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
本人、家族各々にとり、介護、仕事、家族の生活が楽に送ることが(両立)できるように、通い、訪問、泊まりを柔軟に利用していただく小規模多機能のサービス内容の認識をより深めて対応していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月18日（ 13:00 ～ 13:20 ）
6. 連携・協働	メンバー	西浦・伊藤・宮崎・東・和嶋・赤坂・荒川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	5人	人	人	7人

前回の改善計画	筋力低下による転倒防止や、在宅生活維持の為に、福祉用具の利用や訪問医療、訪問看護等と連絡を取り合い、安心安全な生活の継続に努める。高齢者支援センターやボランティアとのつながりを持ち、園だけで抱えず、他職種と連携を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	必要な外部支援と連携を図り、看取りを行うことができた。困難事例も地域ケア会議で検討していただき、参考にしてより質の高い支援に結びついている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	6	1		8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	6			7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	2	3		7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		5	1		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・体操、ボランティア、アコーディオン演奏会、ピアノ演奏会、お茶会、南部昔話、幼稚園の児童達の慰問等、各方面からボランティアが入り楽しむことができている。 ・訪問歯科、リハビリ、福祉用具レンタル事業者とのつながりを勧めている。 ・福祉用具の利用や医療機関、訪問医療等と連絡を取り合い、利用者様の必要に応じて即時対応している。高齢者支援センターの事例検討会に参加し、問題解決に役立っている。 ・果物、野菜の差入れは町内外の方より毎年いただいている。地域の支援を受けている。 ・ボランティアの方々との関わりを持つことができている。幼稚園児の来園は年1回ある。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域のイベントには参加できていない。 理由）・機会がない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
利用者のニーズをミーティングで話し合い、園内だけでなく地域資源を活用し、支援していくことに努める。地域資源の一環としてボランティアの活動を取り入れていく。（体操、アコーディオン演奏、ピアノ演奏、踊り等）	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月21日（ 13：00 ～ 13：30 ）
7. 運営	メンバー	西浦・伊藤・東・木村・関川・白井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	人	人	8人

前回の改善計画	職員間の情報共有が一番大事である。毎日のミーティングで利用者の支援、行事、家族からの意見、苦情等を話し合い、風通しの良い運営に努めていく。トップダウンではなく、職員が自ら考えて行うことを目標としていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所のあり方に疑問等や意見はいつでも話せる雰囲気作りに努めてきた。ミーティングで支援方法について意見を出せる雰囲気も今後目指していく。全員で考えた支援をしてきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	6	1		8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	7			8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	7			8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	6	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様、家族からの意見、苦情などは、ミーティングで話し合い、改善に向けて対応している。 ・職員間の情報共有の大切さを認識している。気になる点、事はミーティングで発言している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員間で注意したいことに遠慮がありきちんと話せていない時があるが、後日ミーティングで話し合い理解し合っている。	
理由）・職員間の注意がパワハラにならないような言い方が訓練されていない。注意する方もされる方も遠慮があり進歩できていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
職員同志のコミュニケーションをよくし、風通しの良い職場とするようミーティングでは利用者についての他、ストレスを抱えていないか聞き取りし、話しやすい雰囲気作りを努めていく。利用者、家族からの苦情はニーズとして捉え、ミーティングで話し合う。謝罪も含め対策し、改善していくことに努めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月21日（ 13:00 ～ 13:30 ）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	西浦・伊藤・東・木村・関川・白井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	4人	人	人	8人

前回の改善計画	外部研修の参加は時間的制約があるが、なるべく職員が交替で参加できるように勧め、伝達研修で職員の共有を図る。ミーティング時、短時間でも勉強すること（内部研修）で質の向上を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員の勤務状況が毎日変化ある為、休みの為ミーティング参加できない職員は申し送りノート、ミーティングの2冊で情報を得ている。研修の資料もファイルし、いつでも学べるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4	4			8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	5			8
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	4	1	7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 外部研修に参加された方は職場に内容を持ち帰り学習した事柄を報告し、文章にして資料を配るなど、ミーティングの場で報告がある事などから伝達研修ができ、共有できていると思う。 - Web研修などに参加している。 - 特に転倒リスク等ある利用者様には、その日の担当者が付き添い、見守りを強化し転倒リスク、トラブル等の防止に努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 地域連絡会に参加できていない。 - 地域連絡会には1,2名のみの参加になっている。	
理由）・地域連絡会に参加する機会がない。 ・曜日、勤務日により参加が難しい。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
職員各々が学びたいことを年度始めにアンケートをとり、沿った研修参加や伝達研修を継続していく。研修は同じ職員にならないよう勧めしていく。リモート研修が多くなり参加しやすくなっている。研修後は伝達研修を行い共有することで職員の質を高めていく。 運営推進会議、地域ケア会議、他園との交流等で地域力を得ていくよう努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月21日（ 13:00 ～ 13:30 ）

9. 人権・プライバシー

メンバー 西浦・伊藤・東・木村・関川・白井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	4人	人	人	7人

前回の改善計画	利用者の尊厳を守る為、必ず守らなければならないこと、職員間啓発の心構えを持ち対応していくことを徹底していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	認知症の利用者に対応力が求められる。職員の言葉がなぜ虐待になるか、ハラスメントになるか、都度話し、尊厳が守られるよう努めている。日常の会話の中に虐待と捉えられる言葉や行い行為はないか、常に気をつけている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	6	2			8
②	虐待は行われていない	7	1			8
③	プライバシーが守られている	5	3			8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	1	1		8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	2			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・成年後見制度で支援している。 ・利用者様に安心していただけるよう自分がされて嫌なことはしないという基本を守るよう努めている。 ・丁寧な言葉づかい、利用者様の悪口、スタッフの大声の雑談、気をつけるよう共有している。 ・身体拘束、虐待は行われていない。プライバシー保護に気をつけて介助している。 ・外出願望ある方について担当を決め、対応している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者に対しての言葉づかい、方言が出る場合がある。 ・玄関の施錠	
理由）・帰宅、外出願望ある方数名おり、見守りをしているが不足の時がある。外ドアは開錠しているが、内ドアは曜日、時間に合わせ施錠し、外出願望に気づき、気持ちの転換を図っている。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
言葉の使い方で利用者、家族を傷つけることが多い。虐待と捉えられることもある。職員間で注意し合い、意識を高め尊厳ある介護に努めていく。約7割の方が認知症あり、その方に合った対応を深め、周辺症状の緩和に努めていく。	